



## Ceramic Tower Heater

デロンギ  
セラミック タワー ファンヒーター

型式番号

# TCH7090ERJ

家庭用

## 取扱説明書

保証書付

### 目次

安全上のご注意.....	2
基本の使いかた.....	4
その他の使いかた.....	6
故障かな?.....	8
お手入れ.....	8
リモコンの電池交換.....	9
仕様.....	9
電源プラグ・コードの 安全チェックシート.....	10
アフターサービス.....	11
保証書.....	裏表紙

- 本書に記載の内容は改善のため予告なく変更する場合があります。



Made in China

この度は、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

正しく安全にご使用いただくため必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は保証書（裏表紙）とともに大切に保管してください。

# 安全上のご注意 <必ずお守りください>

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を「警告」「注意」の2つに分け、説明しています。



**警告**

誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



**注意**

誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



指示

この絵表示は、必ずしていただく「強制」内容です。

## **警告**

### 本体について

定格 15 A (100 V) のコンセントを本製品だけ単独で使用する

(火災の原因)

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く

(火災の原因)

異常が生じた場合は、使用を中止する

(火災・感電の原因)

※万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに連絡してください。

お子様、身体・知覚等に障害のある方には必ず付き添う

機器の運転の有無にかかわらず、お子様、身体・知覚等に障害のある方が近くにいるときは、責任ある大人が付き添ってください。また、ヒーターの運転は必ず付き添いの方が行ってください。  
(やけど・感電・けが・火災の原因)

変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない

(火災・感電の原因)

●取り付けの悪いコンセント、延長コード、テーブルタップ、ソケットなどは使用しない。  
※電源プラグ／電源コードが破損・変形しているときは直ちに使用を中止し、販売店または弊社サービスセンターに交換を依頼してください。

電源プラグ／電源コードを破損させない

(火災・感電の原因)

●上に重たいものを載せたり、コードを本機の下敷きにしない。

●無理に引っ張ったり、電源コードを束ねたまま使用しない。

●温風吹き出し口や他の熱機器に近づけない。

カーテン、布団など燃え易いものの近くで使わない  
(火災の原因)

●コンセントのすぐ下で使わない。

●カーテンなど燃えやすいものの近く、テーブルや机の下で使わない。

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない

(火災・感電の原因)

スプレー缶やカセットボンベを本機の上や前、温風が直接当たるところに置かない

(火災・けがの原因)



禁止



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)



分解禁止

本製品を分解したり、改造したりしない

(火災・感電の原因)



覆い掛け禁止







本機を絶対に布団や衣類などで覆わない

(火災の原因)

●乾燥など他の用途に使用しない。




## ⚠ 注意

### 本体について

 <p><b>指示</b></p> <p>平らな安定した場所に置く (火災・けがの原因)</p>	 <p><b>水ぬれ禁止</b></p> <p>本機や操作部に水やジュースをこぼさない (火災・感電の原因)</p>
 <p><b>電源プラグを抜く</b></p> <p>就寝時、外出時、お手入れの際には、必ず電源を切り電源プラグをコンセントから抜く (火災の原因)</p>	 <p><b>水場使用禁止</b></p> <p>水／湿気の多い場所で使わない 屋外や浴室など水や湿気の多い場所（部屋）で使わない。 (火災・感電の原因)</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p>長時間同じ部位を暖めない (やけどの原因)</p> <p>猫や犬など、ペットの暖房に使わない (火災の原因)</p>	 <p><b>接触禁止</b></p> <p>運転中および使用直後は、温風吹出口など高温部に触れない 運転中や電源を切った直後は、本機器前面、吹き出口など高温部に手を触れない。(やけどの原因) ※移動の際には電源プラグを抜き、本体が十分に冷めてから取っ手を持って移動してください。</p>

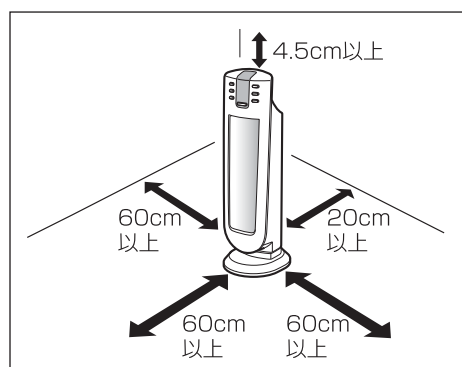
### 電池について

使い方を誤ると変形、発熱、破裂、液漏の原因となります。次の注意事項を必ずお守りください。

 <p><b>指示</b></p> <p>指定された電池のみ使用する (火災・けがの原因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●交換の際には、プラス（+）とマイナス（-）の向きを指示どおりに入れる。</li> <li>●使い切った電池は機器から取り出す。</li> </ul> <p>電池は幼児の手に届かないところに置く (火災・けがの原因)</p> <p>※万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。</p> <p>※電池の液が身体に付いた場合は、水でよく洗い流してください。</p>	 <p><b>指示</b></p> <p>高温・高湿の場所を避けて保管する (火災・けがの原因)</p>
	 <p><b>禁止</b></p> <p>加熱したり分解したり、火の中に入れない (けがの原因)</p> <p>直射日光の強い所やヒーターの前など高温の場所に放置しない (けがの原因)</p>

## 設置場所

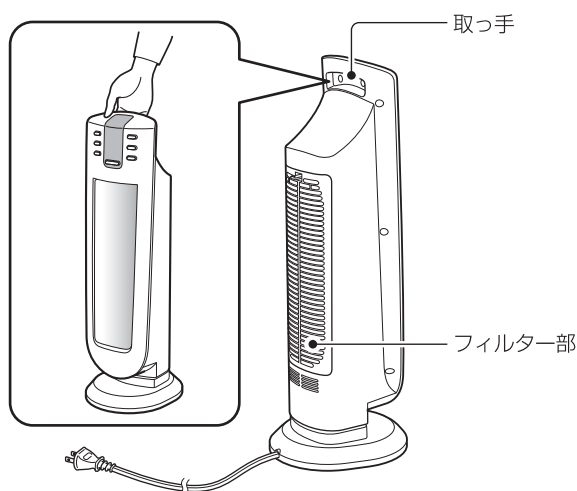
壁やカーテンなどの燃えやすいものから以下の距離を取り、設置してください。



# 基本の使いかた

## はじめに

- 本書(2～3ページ)の「安全上のご注意」と「設置場所」に従って、本機を正しく設置してください。
- 本機を移動するときは、取っ手を持って移動してください。
- 背面のフィルター部は絶対にふさがないでください。背面から冷たい空気を取り込み、暖めて前方を暖房する仕組みです。
- フィルターは定期的にお手入れをしてください。お手入れ方法は、8ページをご参照ください。



## 1 電源プラグをコンセントに差し込む

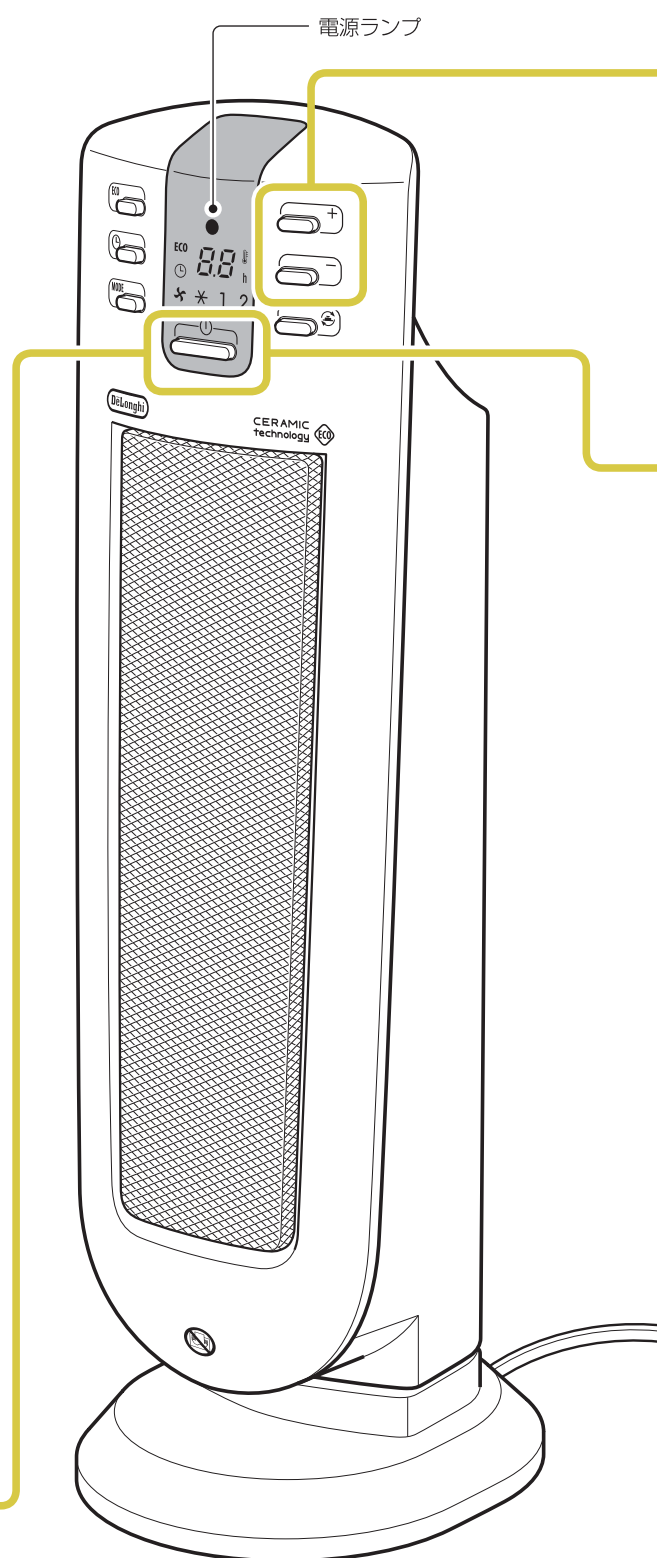
「ピーピーピー」という音がして、電源ランプが点灯します。

## 2 暖房運転を始める



電源スイッチを押します。  
暖房運転が始まります。

- 運転モード(暖房の強弱)を切り替えるときは、6～7ページの「その他の使いかた」を参照してください。



### 3 温度を設定する



+ / - ボタンを押して、表示部の設定温度を変更します。



● 16℃から32℃の範囲で設定できます。

### 4 暖房運転を停止する



運転を止めるには、電源スイッチを押します。  
本機の運転が停止します。

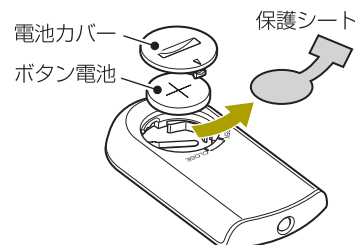
### 5 本機を使わないときは

電源プラグをコンセントから抜いてください。



### 付属のリモコンを使うときは

● はじめて使うときは、電池の保護シートを取り外してください。



電池カバーを開けて、保護シートを取り外します。電池カバーの開けかた／閉めかたは、9ページの「リモコンの電池交換」を参照してください。

● リモコンで操作するときは、受光部にリモコンを向けてください。

本体のボタンと同じ手順で操作できます。

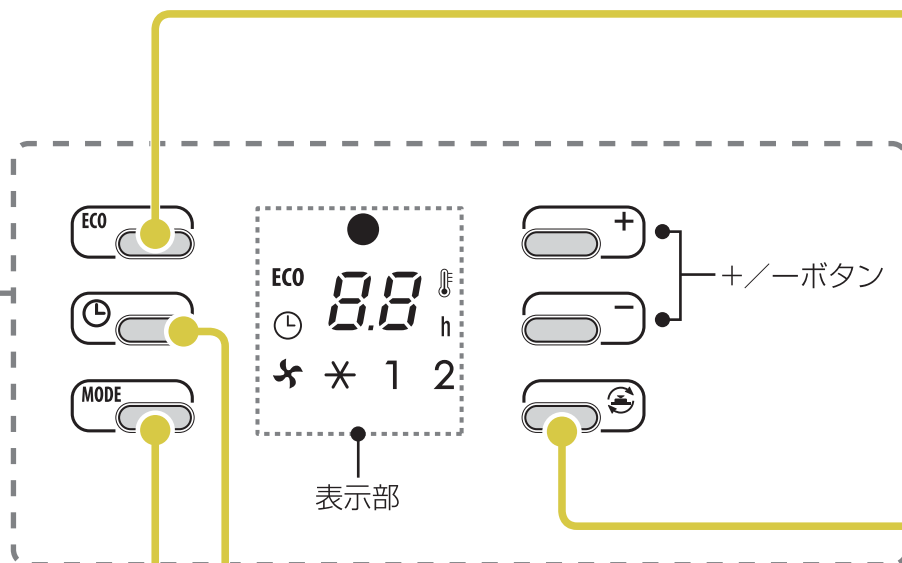
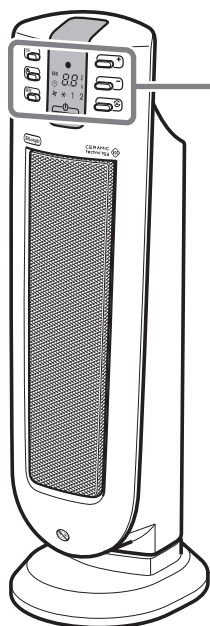


#### お知らせ

受光部に直射日光やその他の強い光を当てないでください。リモコンが正しく動かなくなることがあります。

- 設定温度は、機器周辺の温度の目安としてご使用ください。
- 運転モードが「1」（弱）または「2」（強）に設定されている場合の暖房運転について：  
機器周辺の温度が設定温度に達すると、暖房運転を停止します。その後、機器周辺の温度変化によって自動で暖房運転が開始／停止します。
- 外気温度など、機器周辺の温度条件によっては設定温度に達しない場合があります。
- ホットカーペットの近くや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく動きません。

# その他の使いかた



リモコンでも操作できます。

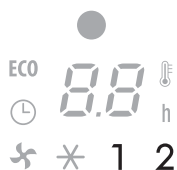


ボタンの配置は  
本体と同じです。

## MODE モードボタン

### 暖房の強弱を切り換える

使用する場面に合わせて、暖めかたを選ぶことができます。



#### すばやく暖めたいとき

● 「2」(強)が点灯するまで、モードボタンを繰り返し押します。

#### 運転音を抑えて、やさしく暖めたいとき

● 「1」(弱)が点灯するまで、モードボタンを繰り返し押します。

### 送風

ヒーターは動作せずに、風だけを送ります。室内の空気を循環させたいときなどに使用します。



● 「」が点灯するまで、モードボタンを繰り返し押します。

### 凍結防止

周囲の温度が7°Cになるように運転して、冬期の室温の下がりすぎを防ぐことができます。



● 「」が点灯するまで、モードボタンを繰り返し押します。



## ECO エコボタン

### エコ運転

周囲の温度に合わせて、自動で暖房の強弱を切り換えます。温度の上がりすぎを防止して、消費電力を抑えることができます。



1 +／－ボタンを押して、温度を設定します。

2 エコボタンを押します。

- 設定できる温度は16℃から26℃です。
- 外気温度など、機器周辺の温度条件によっては設定温度に達しない場合があります。



## 首振り運転ボタン

● 首振り運転ボタンを押すと、首振り運転を開始します。  
首振りを止めるには、再度、首振り運転ボタンを押します。

- 左右約45度ずつ首振りします。
- 手動で首振りの角度を変えないでください。故障の原因となります。



## タイマーボタン

### タイマーを使う



- 0.5時間から24時間先まで予約できます。
- 10時間先までは0.5時間ごと、10～24時間先までは1時間ごとに設定できます。

#### 設定時間後に運転を始めたいとき（オンタイマー）

- 1 電源を切り、運転を停止した状態で、タイマーボタンを押します。
- 2 「h」が点滅したら+／－ボタンを押して、時間を設定します。  
そのまま数秒待つと ⌚ が点灯し、タイマーがセットされます。

#### 設定時間後に運転を停止したいとき（オフタイマー）

- 1 運転中に、タイマーボタンを押します。
- 2 「h」が点滅したら+／－ボタンを押して、時間を設定します。  
そのまま数秒待つと ⌚ が点灯し、タイマーがセットされます。

### タイマーを変更するとき

- タイマーボタンを押し、表示部に時間が表示されたら+／－ボタンを押して、時間を変更します。

### タイマーを解除するとき

- タイマーボタンを2回続けて押します。表示部の ⌚ が消えて、タイマーが解除されます。

# 故障かな？

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。



**電源スイッチを押しても運転しない／温風が出てこない**

- **電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？**
- **不安定な場所に本機を設置していませんか？**  
本体が傾いていると、転倒OFFスイッチが働きます。毛足の長いじゅうたんや凹凸のある床の上は避けて、平らな場所に置いてください。
- **設定温度が、室温よりも低く設定されていませんか？**  
＋ボタンを押して、設定温度を上げてください。



**温風の勢いが弱くなってきた**

- **吸気口のフィルターが、ほこりで目詰まりしていませんか？**  
お手入れの方法に従って、フィルターのほこりを取り除いてください。



**表示部に「PF」と表示されて、「ピー」と音がする**

- **本体の背面が、カーテンや布などで覆われていませんか？**  
背面に障害物があると、本体の温度が上昇し、安全装置が働きます。安全装置が働いた場合：  
① 電源を切って、しばらく運転を停止し、本体を冷ましてください。  
② 障害物を取り除いたあと、運転を再開してください。  
障害物を取り除いても改善されない場合は直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または弊社サービスセンターまでご連絡ください。



**リモコンで操作できない**

- **本体の受光部に、直射日光や強い光が当たっていませんか？**
- **リモコンの電池が消耗している**  
電池を交換してください。（→9ページ）



**設定温度に表示されている温度が高すぎる**

- **温度表示が華氏になっていませんか？**  
工場出荷時は、摂氏温度に設定されています。華氏温度で表示されている場合は、以下の手順で摂氏温度に切り替えてください。  
摂氏⇄華氏の切り替え方法：  
① 電源ボタンを押して、暖房運転を行います。（送風以外のモードで運転してください。）  
② ＋ボタンを押し続け、「ピー」という音がしたら指を離してください。

# お手入れ



お手入れや収納をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行ってください。

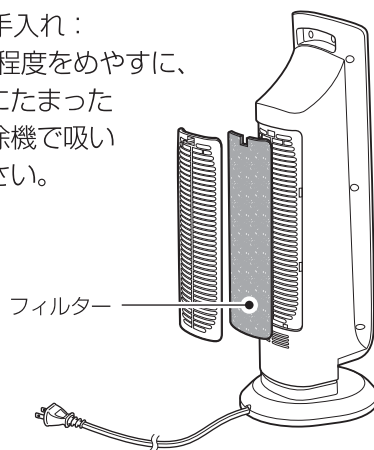
## 本体が汚れたら

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。
- ⊘ 洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。

## フィルターのお手入れ

吸気口のフィルターがホコリで目詰まりしてくると、温風の勢いが弱くなったり、安全装置が働いて運転が停止したりすることがあります。

- 定期的なお手入れ：  
1週間に1回程度をめやすに、フィルターにたまったホコリを掃除機で吸い取ってください。



フィルターを外したままでは本機を使用しないでください。

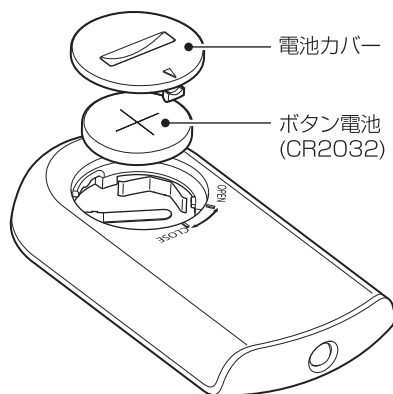
## 収納するとき

- 本体やフィルターのお手入れをした後、ホコリがたまらないようにカバーなどをかけて、湿気の少ない場所に保管してください。
- ⊘ 保管の際は、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。



# リモコンの電池交換

使用する電池は、リチウムボタン電池CR2032です。



## お知らせ

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

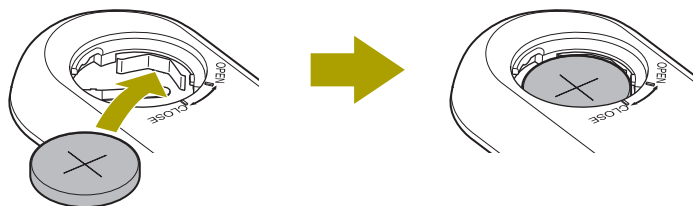
### 1 電池カバーを開ける

コインなどを使って電池カバーを回します。△を「OPEN」の位置に合わせて、電池カバーを外してください。

はじめて使うときに保護シートを取り外した場合は

保護シートを取り外すと、電池が飛び出します。手順 2 に従って、電池を元に戻してください。

### 2 電池を交換する



電池は、+／-を正しい向きにして入れてください。

電池が斜めにずれたり、浮いたりしないように、はめ込みます。

### 3 電池カバーを閉じる

△を「CLOSE」の位置に合わせて、電池カバーを固定してください。

## 仕様

型式番号	TCH7090ERJ
定格	電圧／周波数 交流 100V / 50/60Hz
	消費電力 1250W / 1350W
外形寸法	幅 19cm × 奥行 22cm × 高さ 60cm
質量	2.8kg
タイマー	24 時間オンタイマー・オフタイマー付き
安全装置	転倒 OFF スイッチ、温度過昇防止用サーモスタット（復帰型）

### この製品は欧州 RoHS 指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



# 電源プラグ・コードの安全チェックシート

この度は、デロンギ製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、右記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ、電源コード、コンセントの点検を行ってください。

## トラッキング現象とは...

長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにすると、徐々に電源プラグとコンセントの間にホコリが溜まります。そのホコリに湿気が加わることによって、プラグの両極間に微小の電流が流れます。この状況が長期間続くと、電源プラグの刃と刃の間の樹脂部分(絶縁材)が徐々に炭化し、電気の筋道(導電路:トラック)が作られます。やがて電気の筋道に大量の電流が流れるようになり、最終的にはショート(短絡)して、発火の原因となります。これを「トラッキング現象」といいます。

## 電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

電源コードを引っ張ったり、電源プラグを根元までしっかりとコンセントに差し込まないと、電源プラグとコンセントの接触が不十分な状態(接触不良)で電流が流れることになり、コンセント部が発熱します。この状態のまま放置していると、コンセントの刃受のばね圧力が劣化します。さらに発熱することでアーク現象(空中放電)が発生し、発火の原因となります。

### ☐ 壁面コンセントを単独で使っていますか？

壁面コンセントは、定格容量15Aのものをお使いください。また、他の器具と併用すると容量オーバーになり異常発熱し、発火の原因になります。

2口コンセントは片方を空けて、単独でご使用ください。

### ☐ 延長コード、テーブルタップを使っていますか？

コンセントや電源プラグ/電源コードが異常に発熱し、発火の原因になります。

延長コード、テーブルタップの使用は避け、電源は壁面コンセントから直接お取りください。

### ☐ 電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？

電源プラグとコンセントの接触面にホコリや湿気が付着すると、トラッキング現象が発生し、発火の原因になります。

定期的に、電源プラグやコンセントに付着したホコリを掃除機などで取り除いてください。

### ☐ 電源プラグが変形していませんか？

曲がった栓刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受を変形させる原因となります。

ペンチなどで手直しをしないで、お求めの販売店または当社サービスセンターにプラグの交換をご依頼ください。

### ☐ コンセントにガタツキはありませんか？

刃受のばね圧力が劣化したコンセントを使用すると、電源プラグと十分な接触が得られず異常発熱し、発火の原因となります。

コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。

### ☐ 電源コードに重いものが載っていませんか？

家具等の下敷きになった電源コードは、無理な力が加わり、電源コードの中の細い銅線が断線することがあります。最悪の場合には発火の原因になります。

電源コードを家具等で踏んだり、壁に押し付けたりしないでください

### ☐ 電源コードを束ねたままではありますか？

ヒーター運転中は電源コードの温度が人の体温程度(約40℃)になります。電源コードを束ねたままでお使いになると、熱の逃げ場がなくなり、異常発熱し発火の原因になります。

余った電源コードは束ねず、伸ばしたままお使いください。

# アフターサービス

- 1 使用中に異常（★）が生じた場合は、直ちに主電源スイッチで電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、8 ページの「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

## ★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 本体や操作パネルに、水やジュース（液体）などをこぼした
- 本体に、強い衝撃（転倒・落下）を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 2 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に ①お求めの時期 ②製品名称と型式番号 ③故障の状況－を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して弊社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。

※お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ（下記参照）にてご確認ください。

- 3 保証期間中（3 年）は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

- 4 補修用性能部品の保有期間について

弊社では、このヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に 6 年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 5 まごころ点検について



**長年ご使用のヒーターは、点検をお薦めします。**

保証期間（3 年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をお薦めします。点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

- 6 デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

● **送料について**：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

● **梱包について**：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※ 修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。

## デロンギ・ジャパン サービスセンター（受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 18:00）

コールセンター

**Tel.0120-804-280**

**Fax.045-450-3291**

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫（株）内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ（URL）..... <http://support.delonghi.co.jp>

## 保証書（共通）

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。

持 込 修 理

製品名：デロンギ セラミック タワー ファンヒーター		型式番号：TCH7090ERJ	
お客様	ご氏名： _____ 様	TEL： _____	
	ご住所：〒 _____		
販売店	※店名・住所： _____		
	_____ 印		
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日		保証期間：お買い上げ日より3年間	保証対象：本 体

## 保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行なうことをお約束するものです。

1. お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社サービスセンターに直接ご相談ください。
4. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
  - イ. 本書のご提示がない場合
  - ロ. 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷
  - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷
- 二. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
- ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
- ヘ. 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
- ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

（This warranty is valid only in Japan.）

6. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記のデロンギ・ジャパンサービスセンターにお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

## ■修理メモ

## デロンギ・ジャパン株式会社

サービスセンター

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9  
安田倉庫(株)内 4号ビル  
Tel. 0120-804-280

W-1107K

DeLonghi

## デロンギ・ジャパン株式会社 サービスセンター

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内 4号ビル  
ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。